

「彼女いる?」「より
好きな人いる?」「と
聞かれるとうれしい。

LGBTQ+のころを
理解するとは?

小松先生、教えてください。

今あなたが乗っている
電車の車両に、LGBTQ+の人は

何人いると思いますか?

1車両に150人いたら、3〜15人はいると
言われます。セクシャリティ(性)は目に見えません。

見えないからこそ、まわりに理解されずに
ひとりで悩んだり、孤立する人も少なくないのです。

恋愛話をする時に「彼女いるの?」と聞くなど、
恋人は異性なのが当たり前だと思っていませんか?

その人の見た目が男性だから、無意識に
「○○君」と呼んでいませんか? これは多くの人が

「異性愛」と「ころと身体の性の一致」を前提として
世界をとらえているからです。一見些細なことのようにですが、

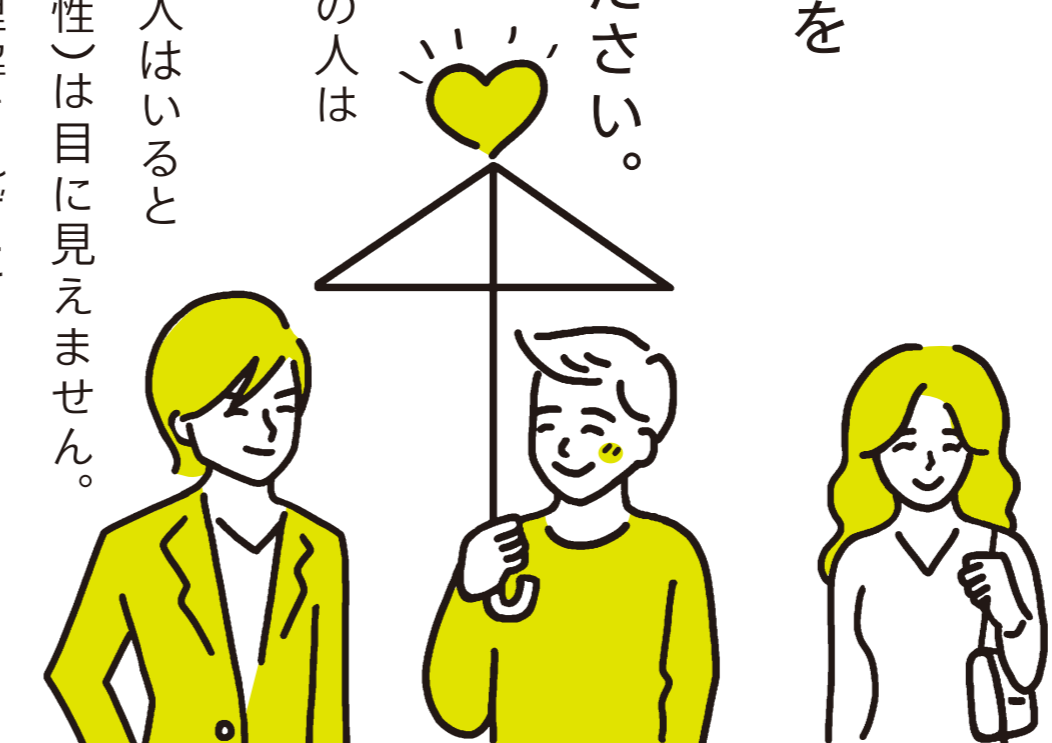
LGBTQ+の人にとっては、ストレスになります。

「私は私である」ということや「ありのままの自分」が
他者に「認められる」ことは、誰もが求めることです。

家族や友人、恋人、同僚など、さまざまな人に認められる
経験は、生きるための支えになります。

多様なころのあり方を理解し、自分の存在が
認められる喜びを、誰もが十分に経験できる

世の中になるといいなと思います。



心理教育学科
准教授 小松 賢亮



※日本のLGBTQ+の割合は1.8〜10% (複数の調査報告を元に換算)



一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜 2024年1月5日(金)出願開始!

WEB出願

一般選抜前期(2科目選択方式)
一般選抜前期(英・国方式)

大学入学共通テスト
利用選抜(A日程)

一般選抜では、初年度納付金から“105万円免除”になる
特待生試験も実施!

現代人間学部
表現学部
経済経営学部

小田急線鶴川駅から徒歩約15分
<https://www.wako.ac.jp/>

ひとりを光らせる
和光大学